

科目名 Course Name	音楽の世界 The world of music				ナンバリング No.	A1-007	
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	川田 将人						
連絡方法	C-Learning で対応。または講義棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修／選択	選択(介護福祉士フィールドは選択必修)						
関連 DP	DP1, DP2, DP5						
授業の概要と 到達目標	西洋音楽史を中心としてその時代に活躍した作曲家の作品やソリストの演奏をその時代の背景や人間関係、曲の分析を含めて総合的に音楽史について学んでいく。楽器としてのピアノの誕生やピアノと作品の関連性、様々な音楽の効果についても考察し、受講者自身が関心のあるミュージカルや映画音楽を選定し鑑賞することで更なる音楽への関心を高め、豊かな感性と音楽的な教養を身につけられることを目的とする。 この授業の到達目標は、以下の 4 つである。 ① 西洋音楽の時代背景を考察し、クラシックをより身近な音楽として聴くことができる。 ② 音楽鑑賞を通して、楽曲の歴史的価値を説明することができる。 ③ 豊かな感性を身につけ、幅広いジャンルの作品から、自らが鑑賞したい楽曲を選曲することができる。 ④ 音楽と他芸術との関連性について理解し、説明できる。						
授業の方法	講義では、鑑賞を主とするが、ディスカッション、プレゼンテーション等も取り入れたアクティヴ・ラーニングの授業形態で総合的な実践力の習得を図る。						
学習成果	L01	鑑賞した音楽について、その音楽的特徴を通して感じたことを説明することができる。					
	L02	それぞれの時代における音楽の歴史的背景・作曲技法について説明できる。 音楽の聴取時に、その作曲家と作曲技法について識別することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	授業のまとめについて、設定された授業回において C-Learning で提出し、それに対してフィードバックする。 提出されたレポート課題に対して、ディスカッションを通してフィードバックする。						
教科書／ 参考図書	教科書は使用せず、適宜、資料と楽譜の配布をする。						
履修上の留意点 やルール等	●私語や居眠りなど授業態度が悪い場合は減点となる。●携帯電話(楽曲を調べる以外)は使用禁止、飲食厳禁である。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務 経験	●実務経験(職種:演奏家 職歴 10 年)これまでの表現活動で得た演奏法の効果や音楽についての知識を活かす。						

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	授業への参加態度を評価する。指定された授業回において C-learning 上で学習のまとめを提出し、その内容と提出期限を守ることによって評価する。	20					
レポート／作品	鑑賞した音楽についてレポートとしてまとめ(20 点)、期限内に提出されること(10 点)で評価する。		30				
発表							
小テスト							
試験	試験は筆記試験として 50 点の配点とする。		50				
その他							
合 計		20	80				

回数		授業計画
1	授業内容	授業概要、学習成果、成績評価、授業での諸注意、音楽の存在意義
	事前・事後学習	人の文化的活動について、自分にとっての音楽とは考える
2	授業内容	中世の音楽
	事前・事後学習	中世の時代背景と音楽について復習する
3	授業内容	ルネサンス期
	事前・事後学習	ルネサンス期の作品(授業で学んだこと以外)の鑑賞とその感想をまとめる。
4	授業内容	バロック期 -J.S.バッハとビートルズ-
	事前・事後学習	J.S.バッハの作品について復習する
5	授業内容	検索方法に関する知識
	事前・事後学習	検索方法について理解し、音楽を聴き比べる
6	授業内容	Rock とはなにか
	事前・事後学習	Rock とは何かについて、歴史的・概念的に把握する
7	授業内容	古典派① レポート課題①(提出期限は第9回授業まで)
	事前・事後学習	古典派の音楽について復習する
8	授業内容	古典派② -モーツァルトとベートーヴェン-
	事前・事後学習	モーツァルトとベートーヴェンの作風について復習する
9	授業内容	古典派③ -モーツァルトのオペラ-
	事前・事後学習	モーツァルトのオペラについて復習する
10	授業内容	ロマン派 -ピアニストの系譜- レポート課題②(提出期限は第14回授業まで)
	事前・事後学習	ピアニストの系譜について復習し、異なる系譜の奏者による演奏を聴き比べる
11	授業内容	近代フランス音楽 -impressionism-
	事前・事後学習	近代フランス音楽の特徴についてまとめる
12	授業内容	現代音楽の変遷 -Expressionism-
	事前・事後学習	現代音楽における作曲技法を復習し、新古典主義の作品を聴く
13	授業内容	ミュージカル鑑賞① -Memphis-
	事前・事後学習	第6回授業を復習する
14	授業内容	ミュージカル鑑賞② -Memphis-
	事前・事後学習	感想を提出する
15	授業内容	まとめ
	事前・事後学習	授業を通して各時代背景と作曲家、作品について振り返り、筆記試験に向けた学習をする。